

美里町の概要

美里町は、埼玉県の北西部、東京都心から 80km 圏に位置し、東は深谷市、北から西は本庄市、南は寄居町及び長瀨町にそれぞれ隣接している。町域は、東西約 5.5km、南北約 9km の南北に長い形状で、総面積は 33.48 km²。南部の山間地帯と中央以北の平坦地により構成されていて、小高い丘にはプルーン、ブルーベリー、あんずなどの観光果樹園が、平坦地にはのどかな田園風景が広がっている。3 月にはカタクリの花が群生地咲くほか、4 月にはあんず、5 月にはポピー、7 月には大使ハス、9 月には曼珠沙華、10 月にはコスモスが見ごろを迎える。また、町では多くの円墳が発見され、縄文式土器、石器、埴輪などが発掘されており、遺跡の森総合公園の遺跡の森館に展示されている。

昭和 29 年に東児玉村・松久村・大沢村の 3 村が合併し「美里村」となり、昭和 59 年 10 月に町制を施行し「美里町」が誕生した。平成 19 年 2 月 1 日現在、町の人口は 12,080 人、世帯数は 3,861 世帯で、近年の人口はほぼ横ばい、世帯数は微増傾向で推移している。

交通は、町を横断する J R 八高線の「松久」駅が町の中央付近にあり、その南方を国道 254 号が平行して走っている。また、県道本庄寄居線が町を縦断しているほか、各県道が連絡して町内と周辺市町とを結んでいる。町北部を通過する関越自動車道は隣接する本庄市の「本庄児玉インターチェンジ」を利用することができるほか、J R 上越新幹線の「本庄早稲田」駅、J R 高崎線「本庄」駅、東武東上線「寄居」駅を利用することができるため、利便性は良い。

町内の商業施設は平成 3 年に小茂田地区に出店したフジマート、平成 18 年に根本地区に出店したコメリのほかは、コンビニやドラッグストアなどの小規模日用品小売店舗が見られる程度である。多くは隣接する本庄市などの商店に依存しているため、地域密着型の商業振興やサービス業の育成が求められている。また、工業施設は役場の近くにミニ工業団地があるほか、大手企業の工場が町内に散在しているが、今後は優良企業の誘致に積極的に取り組み、地場産業への支援、活力ある中小企業の育成も求められている。

美里町は、平成 18 年度を初年度とし、平成 27 年度を目標年度とした「第 4 次総合振興計画」を策定した。これに基づき具体的施策となる各種諸計画を策定し、住みよい生活環境づくりのための防犯防災対策の充実や、便利で魅力のあるまちづくりの基幹となる主要道路整備計画などを進めている。また、関越自動車道・寄居パーキングエリアの「スマートインターチェンジ構想」実現に向けて、関係機関との協議を進めている。

平成 19 年 2 月 16 日現在